

## (2) 三重県男女共同参画審議会による評価

## 進捗に関する評価

子育てや介護に関する支援サービスが整備されつつあることは、一定評価できる。

## 取組の結果生じた課題

- a 多様なニーズに対応するサービス提供の充実が求められる。
- b 今なお子育て・介護負担は女性に偏重している。
  - ・ 育児休業の取得率は、女性では64.0%、男性では0.33%（H14 女性雇用管理基本調査：全国） 主な介護者に占める女性の割合が76.4%（H13 国民生活基礎調査：全国）となっている。
- c 父母の子育て・家庭生活での不適應を未然に防ぐため、精神面での成長に向け、結婚前から社会的に支援するしくみが求められる。
- d 出産後の母親を精神的に支えるしくみが少ない。

## 時代変化を受けての新たな課題

- e 家庭・地域の空洞化がますます進んでいる。
- f 家族の孤立化などの中で、子育て・介護に対する不安や虐待などが表面化してきている。
  - ・ 核家族世帯が59.4%を占めている。（H12 国勢調査：三重県）
  - ・ 30歳代の男性で、週平均就業時間が60時間超の人が20%を超えている。（H14 労働力調査：全国）

## 今後の施策についての提言

- a ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ等の設置などの取組を一層進める。
- b 男女ともに働き方の見直しを行い、協力して子育て・介護にあたる。また、子育て・介護は社会全体でみていくという意識の浸透をはかっていく。そのため、本人・家族・地域全体の意識改革に向けた取組を行う。男女がともに子育て・介護技能を向上できるよう支援を行う。
- c 将来の家庭生活に視点を置き、子育て・介護をはじめとする生活技能に関し、若い世代に対し、学校等で学習機会を提供していく。

## 2 基本施策に対する評価

### 家庭・地域における男女共同参画の推進

- d 4か月、1歳半、3歳児健診時等において、重点的な情報提供と父母に対する精神的支援を行うことを検討する。また、産後の母親の精神衛生について、産科と地域保健の連携方法を検討する。
- e・f 男女共同参画のまちづくり等を通して、人間関係の強化、人がつながっていける地域形成を行い、地域の子育て機能、高齢者及び介護者の支援機能の強化をはかる。
- f 孤立感を抱いている父母に対し、支援サービスに関するニーズの把握を行い、交流の機会の提供などにより、子育て支援を行う。